

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 CKD株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 舟橋 典孝

TEL 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	35,589	9.4	3,432	134.6	3,503	120.9	2,516	127.4
25年3月期第2四半期	32,520	△11.6	1,463	△49.6	1,585	△48.9	1,106	△44.5

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 3,785百万円 (458.8%) 25年3月期第2四半期 677百万円 (△58.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	40.30	—
25年3月期第2四半期	17.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	80,243		54,447		67.9
25年3月期	71,742		50,852		70.9

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 54,447百万円 25年3月期 50,852百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成25年10月31日)公表いたしました「第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	12.3	7,500	131.2	7,600	116.0	5,000	103.9	80.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成25年10月31日)公表いたしました「第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異、通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	69,429,349 株	25年3月期	69,429,349 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	6,976,187 株	25年3月期	6,976,074 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	62,453,237 株	25年3月期2Q	63,252,957 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成25年11月6日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
〔生産、受注及び販売の状況〕	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策と日銀による金融緩和策の効果から、公共投資や住宅投資が増加したことに個人消費の改善も加わり、内需は底堅く推移いたしました。また、為替が円安に変動したことも追い風となり、自動車などを中心に輸出が増加し、鉱工業生産も徐々に回復いたしました。

海外経済は、米国は緩やかながら景気回復が続き、低迷していた欧州も景気持ち直しの兆しが見られました。しかし一方では、急激な成長が続いていたアジアや中南米などの新興国経済はその成長が鈍化するなど、不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社の当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高35,589百万円（前年同四半期比9.4%増）、損益面では、営業利益3,432百万円（前年同四半期比134.6%増）、経常利益3,503百万円（前年同四半期比120.9%増）、四半期純利益2,516百万円（前年同四半期比127.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自動機械部門

主力商品の薬品自動包装システムは、ジェネリック医薬品普及促進と医療用医薬品安全対応に向けた設備投資の活況が続いたことで、売上は増加いたしました。

一方、EV（電気自動車）の普及が遅れたことなどから車載用電池の設備投資が見送られたリチウムイオン電池製造システム、情報通信機器関係の設備投資が縮小した三次元はんだ印刷検査機の売上は減少いたしました。

その結果、売上高は7,382百万円（前年同四半期比25.2%増）、営業利益は930百万円（前年同四半期比53.9%増）となりました。

② 機器部門

国内市場では、設備投資が活発化している半導体製造装置向けやアジアで新工場建設が進んでいるFPD製造装置向けの売上は増加いたしましたものの、海外への輸出が低迷している工作機械向けの売上は減少いたしました。

海外市場では、景気回復が緩やかに進む米国及び半導体やFPDの設備投資が活況な東アジアの売上は増加いたしました。一方、東南アジアは、昨年の水害復興特需からの反動に経済成長の鈍化が加わったことで売上は減少いたしました。

その結果、売上高は28,206百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は3,671百万円（前年同四半期比70.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8,500百万円増加の80,243百万円となりました。これは主に、現金及び預金、有価証券、売上債権並びに有形固定資産が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,905百万円増加の25,795百万円となりました。これは主に、未払従業員賞与の減少があったものの、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,595百万円増加の54,447百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ3.0ポイント減少の67.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて3,688百万円増加し、11,869百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は5,888百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3,790百万円、減価償却費1,149百万円、賞与引当金の増加1,753百万円、仕入債務の増加1,307百万円による資金の増加、未払賞与の減少1,235百万円、売上債権の増加1,316百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は1,531百万円（前年同四半期比16.2%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,525百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は926百万円（前年同四半期は1,325百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出610百万円、配当金の支払額311百万円による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、前第2四半期連結累計期間と比べて国内外ともに売上が増加いたしました。また、損益面では、生産性の改善が進んだことに円安の効果も加わり、利益は増加いたしました。

今後も、景気の更なる持ち直しの動きが期待されるものの、為替の変動、新興国の経済成長の推移などの外部リスクにも注視していくことが必要となります。

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績を踏まえ、平成25年5月10日に発表いたしました通期連結業績予想を以下のとおり見直しました。

売上高73,000百万円（前回予想比変更なし）、営業利益7,500百万円（前回予想比25.0%増）、経常利益7,600百万円（前回予想比26.7%増）、当期純利益5,000百万円（前回予想比28.2%増）

この予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(退職給付制度の改定)

当社は平成25年4月1日付で確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度を改定するとともに、確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度に移行し、確定拠出年金制度が退職給付制度に占める割合をこれまでの20%から50%に引き上げております。この移行に伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（平成14年1月31日 企業会計基準適用指針第1号）及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」（平成14年3月29日 実務対応報告第2号）を適用し、確定拠出年金制度への移行部分について退職給付制度の一部終了の処理を行い、当第2四半期連結累計期間に特別利益として294百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,322	10,013
受取手形及び売掛金	16,294	18,006
営業未収入金	2,355	2,414
有価証券	3,000	4,000
商品及び製品	3,915	4,105
仕掛品	2,072	1,893
原材料及び貯蔵品	10,192	10,238
その他	2,500	3,564
貸倒引当金	△71	△76
流動資産合計	47,582	54,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,178	7,103
その他(純額)	11,164	12,160
有形固定資産合計	18,342	19,263
無形固定資産	823	805
投資その他の資産	4,994	6,013
固定資産合計	24,160	26,082
資産合計	71,742	80,243
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,035	9,713
短期借入金	2,909	2,534
未払法人税等	201	1,365
賞与引当金	73	1,835
その他の引当金	445	455
その他	5,139	5,287
流動負債合計	16,804	21,190
固定負債		
長期借入金	2,161	1,901
引当金	118	139
その他	1,805	2,563
固定負債合計	4,085	4,604
負債合計	20,890	25,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,016	11,016
資本剰余金	12,737	12,737
利益剰余金	31,273	33,477
自己株式	△4,832	△4,711
株主資本合計	50,194	52,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	622	939
繰延ヘッジ損益	—	△2
為替換算調整勘定	36	990
その他の包括利益累計額合計	658	1,927
純資産合計	50,852	54,447
負債純資産合計	71,742	80,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	32,520	35,589
売上原価	23,878	24,645
売上総利益	8,642	10,943
販売費及び一般管理費	7,179	7,511
営業利益	1,463	3,432
営業外収益		
受取利息	6	10
受取配当金	50	47
為替差益	29	—
その他	147	141
営業外収益合計	234	199
営業外費用		
支払利息	36	34
売上割引	52	60
為替差損	—	11
その他	22	21
営業外費用合計	111	128
経常利益	1,585	3,503
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	2
退職給付制度改定益	—	294
特別利益合計	1	297
特別損失		
固定資産売却損	1	1
固定資産除却損	3	8
特別損失合計	4	9
税金等調整前四半期純利益	1,582	3,790
法人税、住民税及び事業税	488	1,312
法人税等調整額	△12	△38
法人税等合計	475	1,274
少数株主損益調整前四半期純利益	1,106	2,516
四半期純利益	1,106	2,516

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,106	2,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△479	317
繰延ヘッジ損益	—	△2
為替換算調整勘定	50	954
その他の包括利益合計	△429	1,269
四半期包括利益	677	3,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	677	3,785
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,582	3,790
減価償却費	1,260	1,149
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,412	1,753
未払賞与の増減額 (△は減少)	△1,467	△1,235
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△110	△564
売上債権の増減額 (△は増加)	3,486	△1,316
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△112	261
仕入債務の増減額 (△は減少)	△241	1,307
前受金の増減額 (△は減少)	706	△36
その他	270	443
小計	6,787	5,553
利息及び配当金の受取額	57	57
利息の支払額	△35	△35
法人税等の支払額	△819	△195
法人税等の還付額	—	508
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,989	5,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△968	△1,525
無形固定資産の取得による支出	△384	△34
その他	35	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,317	△1,531
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△130	△107
長期借入れによる収入	2,600	—
長期借入金の返済による支出	△390	△610
自己株式の取得による支出	△492	△0
自己株式の売却による収入	130	127
配当金の支払額	△380	△311
その他	△12	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,325	△926
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	258
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	6,003	3,688
現金及び現金同等物の期首残高	5,961	8,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,964	11,869

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,896	26,624	32,520	—	32,520
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	93	93	△93	—
計	5,896	26,717	32,613	△93	32,520
セグメント利益	604	2,150	2,755	△1,292	1,463

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,292百万円には、セグメント間取引消去17百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,309百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動機械部門	機器部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,382	28,206	35,589	—	35,589
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	57	57	△57	—
計	7,382	28,264	35,646	△57	35,589
セグメント利益	930	3,671	4,601	△1,169	3,432

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,169百万円には、セグメント間取引消去16百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,185百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	8,583	+50.2
機 器 部 門	28,142	+6.3
合 計	36,726	+14.1

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	6,085	△27.6	7,463	△25.1

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動機械部門	7,382	+25.2
機 器 部 門	28,206	+5.9
合 計	35,589	+9.4

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。